

時の翼にのって／ファラウェイ・ソー・クローズ！（1993）

FARAWAY, SO CLOSE!
IN WEITER FERNE, SO NAH!

メディア 映画

ジャンル ファンタジー

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 147分

初公開日 1994/05/07

公開情報 アミューズ=リトル・マジック提供／ギャガ=アミューズ

【解説】

親友ダミエル（ガンツ）を人間世界に見送って、天使カシエル（ザンダー）は一人ぼつねんと下界を見下ろしていた。ベルリンの町は東西統一が図られ、人々の想念は複雑に入り混じる。こうなる端緒を作った旧ソ連大統領ゴルバチョフ（本人出演）の想いをその肩越しに窺うカシエルは、バルコニーから誤って転落した少女を救ったことでいよいよ人間に变じ、早速、ダミエルを訪ね、そのささやかな幸福を羨みつつも相容れないものを感じ、酒を初めとする諸々の悪徳に身を浸す。やがて、墮天使エミット（デフォー）の誘惑に抗し切れず、商社社長（ブッフホルツ）の片腕としてヤクザ紛いの悪行にも手を染めた彼は、社長が裏では悪名高き武器商人と知って、彼とエミットの企みを未然に防ごうと、前作「ベルリン・天使の詩」でも本人役で登場したP・フォークの協力を仰いで、決死の奮闘を繰り広げる。後半、安手のアクション映画のような展開となり、完全に方向を見失う作品ではあったが、前半のカシエルの人間的な苦悩や、少女の祖父で収容所経験を持つ運転手の未だ拭えぬナチの恐怖政治の残像の描写など、前作より、いい意味で通俗的かつ詩的な、共感の出来る部分が多々あった。ヴェンダースの世界認識は悩み抜いた挙げ句の前向きさがあり、それは前作同様評価したい。N・キンスキーが墮天使に対抗して主人公を守ろうとする、彼のかつての同僚ー守護天使に扮し、その変わらぬ美しさを印象づける。

【クレジット】

監督	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders
製作	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders
製作総指揮	ウルリッヒ・フェルスベルク	Ulrich Felsberg
脚本	ヴィム・ヴェンダース ウルリヒ・ツィーガー クヒアルト・ライヒンガー	Wim Wenders
撮影	ユルゲン・ユルゲス	Jurgen Jurges
音楽	ローラン・プティガン	Laurent Petitgand
出演	オットー・ザンダー ピーター・フォーク ナスターシャ・キンスキー ホルスト・ブッフホルツ ブルーノ・ガンツ ソルヴェーグ・ドマルタン ウィレム・デフォー ルー・リード	Otto Sander Peter Falk Nastassja Kinski Horst Buchholz Bruno Ganz Solveig Dommartin Willem Dafoe Lou Reed

